

前芝小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「大好き 前芝」をテーマに、ESDを「地域に学び、ふるさとを愛する子の育成」の場と捉え、ESDの実践を通して問題解決の能力・自己の生き方・コミュニケーション能力を身につけさせることを目標としている。
- ・具体的には、体験活動を柱に、①環境に係わる学習、②防災に係わる学習、③平和に係わる学習を行っている。

・活動の実際

① 環境に係わる学習（3，4，5年生）

みなと塾（校区の加藤正敏さん主催）の方々の協力のもと、3・4年生が干潟学習として、六条潟の生き物調査を行った。3年生は、干潟の生き物調べを行った。4年生は、30cm平方の木枠内の砂を掘り起こし、その中にいるアサリの個数と重さを調べた。グループごとワークシートに結果をまとめ、全体の集計を出していった。5年生は、田植えや稲刈り、脱穀など稲作体験を通して、米ができるまでの大変さを実感した。また、稲の成長過程でさまざまな生き物が関わっていることにも気づいた。



干潟学習

② 防災に係わる学習（6年生）

昨年度は地震や津波で被災した際に、どのような避難方法があるのかについて学習を深めた。一次避難・二次避難では、自分の命を守るための行動が必要であることが確認できた。また、避難所には幅広い年齢層の方々が集まることが想定される。避難所生活を送ることになったときには、自分たちでも段ボールを利用した間仕切りや簡易テントの設営、簡易トイレの設置と利用方法の説明はできるという思いを、体験活動を通してもつことができた。

今年度は、若宮神社まで水平避難を行なった。1キロほど離れた小高い地にある神社まで歩いてみて、小さい子や高齢者がこの距離を歩くのは、なかなか大変ではないかという疑問をもち、そのほかに避難できる場所を自分たちで探し始めた。



避難所の設営



若宮神社へ水平避難

③ 平和に係わる学習（6年生）

校庭に立つ碑石に刻まれた文字の謎について調べ、わかったことをタブレットツールにまとめた。戦争当時の様子を詳しく知るために、当時の写真資料や映像資料を見て、戦争に対する人々の思いや伝えたい思いについて知ることができた。

自分たちの住む地域や国だけでなく、世界にも目を向けることができ、平和について改めて考える機会となった。



コラボノートで調べた内容や個の考えを共有した